

## 外来この1年

外来看護科長 岩井 照代

16年7月より循環器呼吸器内科の不在により、患者様の受診を希望する声に応えることが出来ず辛いお断りをしました。現在も当院の受診を希望される患者様の希望にお答えすることは出来ていません。循環器内科医退職後の診療体制を確立せずにその時を向かえ、外来スタッフには混乱来たと申し訳なかったと思っています。外来スタッフも微力ながら医師の確保に協力したいと考えています。

外来では院内統一の看護体制である、固定チームナーシングを実施しました。試行を終えて実施に至った看護体制は、職員のチームとしての意識が高まり、協力体制が確立しチーム内での助け合いがなされるようになりました。昨年、固定チームナーシングを導入の準備をしたときの、前外来科長の石崎参事が目指した目標が達成してきていると考えます。チーム内の診療科を学習し、3つの外来で勤務が出来るようになることに1年かかりました。現在はチーム単位で業務内容が考えられるようになりました。各スタッフが自信を付け、これからは患者様に満足いただける看護を目指し、継続看護を目指したいと考えます。まずは産婦人

科病棟の協力をもらい、産科の継続と、各科のターミナル患者様の継続を行っておきたいと考えています。又問題もないわけではなく、チームリーダーはリーダー研修を受けていず、スタッフもメンバーとしてのメンバーシップを持つことが出来ていないのが現実です。しかし、この看護体制を継続しスタッフも患者様も満足できる看護が出来ると信じています。

外来事務職員配置、救命センター設置、オーダリングの拡大・電子カルテなど、今後も病院の変化についていくことに外来全員で努力していきたいと考えています。

外来にはまだまだ患者様の不満の声が聞こえます。スタッフは一生懸命看護をさせていただいていますが、現実満足感を持ってもらえないのも事実です。自分を冷静に見つめ反省することを1人1人が行って行こうと思います。

3年6ヶ月ぶりに現場復帰が出来、意気揚々としていましたが、すっかり動かなくなった自分の身体と知識に愕然としました。多くの診療部の皆様、スタッフの皆にご迷惑をおかけしています申し訳ありません。